



集落にあふれるワクワク感を
ずっと見ていきたいと思った。



新潟県十日町市の池谷・入山集落。住民20名ほどの村に、年間700人以上が訪れる。
移住者を呼び、集落を引き継いでいくために、小佐田さんはこの地で活動することを選んだ。

NPO 法人「十日町市地域おこし実行委員会」 小佐田美佳さん

かつて「限界集落」だった土地に、若者たちが集まっている。新潟県十日町市にある池谷・入山集落は、数年前まで6世帯・13人の地区だったが、今では3世帯・5人が移住。その立役者となったのが、小佐田さんが働く「十日町市地域おこし実行委員会」だ。

「農業体験や雪かき体験などのイベントの企画運営、事務、経理、広報などの仕事をしてきました。職員が少ないので、一人で何役もします」

小佐田さんがボランティアで初めて来たのは大学4年生の時。何度か通い、2年半が経った頃、変化に驚いたという。「集落として、すごく前進していました。長期滞在者がいたり、家族で移住することが決まっている人がいたり。ワクワク感があふれていたんです。この変化をずっと見ていきたいと思うようになりました」

そして移住。当時は任意団体だった実

行委員会で活動を始めた。住まいは集落の廃校。でも、充実感でいっぱいだった。

次第に収入面が不安になり、十日町市内で職を見つけ、市街地に住まいを移した。すると、地元の人たちに「十日町に来てくれてありがとう」と言われた。うれしかった。

「十日町を愛しているから言える言葉ですよ。フレンドリーに接してくれます」

小佐田さんは、移住した当初から、ずっとこの地に関わって生きていくために

「収入」と「ダンナさん」が必要だと考えたそう。実行委員会がNPO法人となったことで「収入」は手に入れた。そしてなんと、「ダンナさん」となる男性とも十日町で出会いを果たした。

「結婚もしたい子育てもしたかった。だから、絶対にダンナさんを見つけたいって思っていたんです」

結婚後は、パートとして実行委員会の活動を続けることとなった。集落での活動と、家庭を両立させることが今の目標だ。



「この集落を全国に知られる場所にしたい」と小佐田さん。



集落の廃校を再利用し、NPOの拠点として活用している。



1.NPOの職員だけでなく、集落の住民、インターンシップ生も一緒になって、イベントや企画を話し合っていく。 2.集落に空き家がないため、長期滞在者やインターンシップ生も廃校で生活。今後は、移住を考える人たちの仮住まいとなる「修行ハウス」を建設する予定だ。 3.田植えなどのイベントの際には、県内外から多くの人々が訪れる。「池谷を100年後も、1000年後も残っていく集落にしたいです」と小佐田さん。

原風景とアートが息づく、十日町市。

棚田やブナ林。そして、「大地の芸術祭」の作品など見どころの多い町です。

地域の基本データ

十日町市の概要 (2013年4月1日現在)

- ◆面積：589.92km²
- ◆人口：58,470人
- ◆主な産業：農業、絹織物業
- ◆主な産物：絹織物、魚沼産コシヒカリ、日本酒、そば、きのこ
- ◆保育、教育機関
保育園：24、幼稚園：3、小学校：22、中学校：10、高等学校：5、特別支援学校：2、専修学校：1
- ◆医療機関
病院：5、診療所：20、歯科診療所：25



千手温泉

寒くなってくると「温まりたいなあ」と思って、温泉に足が向かいます。



絵本と木の木の美術展

休日には、インターン生と一緒に「大地の芸術祭」の作品をまわることもあります。



行きつけの居酒屋さん

地元の食材を使った料理がおいしいお店。私のおすすめは「米粉ピザ」です。

小佐田さんのプロフィール

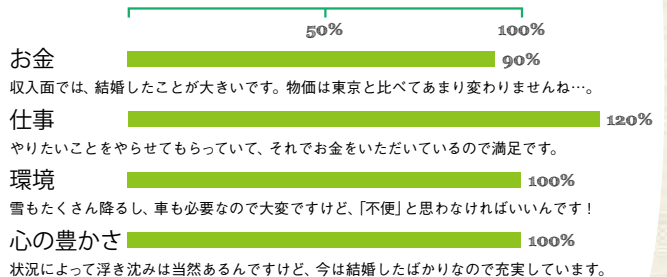
NPO法人「十日町地域おこし実行委員会」
小佐田美佳さん 27歳

message

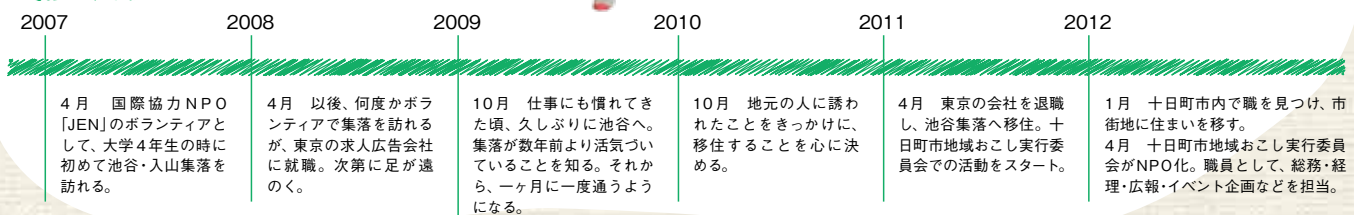
地域おこしがしたくて移住するのであれば、最初は収入を期待してはダメです。ある程度の蓄えが必要。とは言っても、思い切って飛び込んでみて、あとは何とかしていくという勇気も大事だと思いますよ。



小佐田さんの十日町市の満足度



小佐田さんの移住ストーリー



あなたの「始めたい」を応援します。

- 暮らしたい市町村とのコーディネート
- 市町村や県の定住支援策等の紹介
- 公営住宅や空き家等の物件情報
- 田舎暮らし体験ツアーや体験施設、受け入れ先の紹介
- 農業を始めたい方へ、就農支援に関する情報



にいがた暮らし相談窓口

にいがたUターン情報センター

併設のにいがたUターン情報センターは、新潟での就職情報が充実！首都圏にしながら、新潟県内の最新の求人情報を入手することができ、ご希望の求人には、その場で紹介を受けられます。「新潟にU・Iターンしたいけれど、就職活動の方法が分からない」、「新潟にどのような求人があるのを知りたい」など、新潟の仕事に関する相談を何でも受け付けています。



相談時間 ◎10:30~18:30 (火曜日・祝日・年末年始は休み) TEL: 03-3479-1415 FAX: 03-5771-7714 e-mail: n-soudan@nico.or.jp 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-11-7 表参道・新潟館ネスパス2F

ホームページでは、10人の移住者の「にいがた暮らし」ライフスタイルを紹介！ <http://www.furusato-niigata.com/>

[にいがた暮らし](#)

[検索](#)